

令和元年度 事業目標宣言

	管理者	事業項目	目標(数値、具体的に)
事務局	安心と信頼を基礎に法人の魅力発信！「利用者、地域を支える続ける ゆるぎない存在へ」		
	 事務局長 山崎 弘一	財務基盤の安定化	<ul style="list-style-type: none"> ・吉備の里の魅力発信と利用率の促進 ・固定費のコスト削減
		ガバナンスの強化	法人の将来性、継続性を見越したリスクマネジメントと持続性ある体制づくり
		人材の確保、育成	安心安全な事業継続のための必要な人材の確保と恒久的な人材育成
総務課	法人の組織力・職員の実践力の向上		
	 総務課長 高橋 英樹	事業運営の透明性、財務管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・財務情報、現況報告書等の公表 ・支出削減、補助金等の活用
		専門性および経営力を高める人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパス制度の構築、運用 ・階層別、会計研修の実施(年10回)
		働きやすい職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・年次有給休暇取得促進(年5日以上) ・仕事と育児、介護等の両立支援
希望	安心できる居場所の創造 「気づきを深める感性と理解する想像力の向上」		
	 所長 奥山 馨一	活動の充実	作業や研修をとおして、生活リズムの安定をはかり、日常生活の充実を目指す。
		工賃の維持向上	岡山県の平均工賃以上の支給を目指す。
		安心できる空間創り	仲間がいて、相談ができて、安心できる居場所の提供。
たんぼぼ	利用者の主体性を大切にしながら、共に寄り添う支援と魅力向上を目指す。		
	 所長 平 忠士	利用の向上	新規利用者の獲得も含めて、利用率向上を目指す。
		日中活動の推進	個別支援の充実と強度行動障害者への支援力の資質向上を図る。
		安心安全の強化	事業所および送迎に関する、日常点検確認と事故0を目指す。
なでしこ	人材の育成と他職種連携による新規就労、地域移行及び就労定着の推進		
	 所長 丸山 力	人材の育成	若い支援者に多様な経験の場を設け、知識と実践による支援力の向上を目指す。
		就労による社会参加の促進	利用者の意向を尊重し、求職活動及び生活の場の確保、長期的な就労の支援を促進する。
		障害特性に応じた支援力の向上	障害特性や環境を理解し、ストレングスの視点となる支援力の向上を目指す。

令和元年度 事業目標宣言

	管理者	事業項目	目標(数値、具体的に)
ひなぎく	令和元年、「利用者、職員が心寄せ合い」おしぼり作業を通し、活力・魅力ある事業所を目指す。		
	 所長 有根元 和巳	利用者の安全確保・安全利用	施設利用における安心・安全への環境配慮と自己防衛意識の向上に向けた支援の取組み。
		人材育成(組織力の向上)	職員間の連携及び情報共有を行い、利用者支援の向上に努める。
		笑顔絶えない職場環境	利用者及び職員が笑顔絶えない職場環境づくりを目指す。
チャレンジ	チームワークによる利用者支援と事業運営		
	 所長 坂元 忠之	堅実な事業運営	作業収益の確保及び利用者の確保と加算の活用
		作業能力の向上	作業確保による利用者の能力向上
		安全・安心な職場環境	労災事故のない1年を目指す
つばき寮	利用者の自主性を尊重し、地域生活への適応力を高める。		
	 常務理事 水舟 稔	個別支援(訓練)サービスの充実	地域生活に移るための個別支援(訓練)の内容を少しずつ充実していく。
		地域生活移行の推進	2年間の訓練を終えた利用者が、確実に地域での生活に移れるよう支援する。
		新規利用の促進	つばき寮を広く紹介し、10名以上の新規利用につながるようにする。
地域生活ホーム	利用者の安全・安心をチーム支援でサポートします。		
	 所長 平井 浩士	利用者の安心・安全のサポート	チーム支援により、切れ目ない支援を行う。
		地域移行の促進	関係機関と連携し、地域移行の促進に努める。
		地域での単身生活の支援	自立生活援助事業の推進
相談支援センター	地域で安心して生活できる環境づくりを目指すため、利用者とともに考えていく。		
	 所長 三村 恭一	地域生活支援拠点等の整備	緊急時の受入れにおけるハード面、人材面の確保(2019年度末の整備を目指す)
		児童発達支援事業開設準備	町保健課等との協議により方向性を定め、事業所内での準備を進めていく。
		地域自立支援協議会の運営	自立支援協議会の活動を活性化することで、町の課題を見出し、障害者が暮らしやすい地域づくりを目指す。